

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第3期） 平成27年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第3期）の概要

- (1) 計画期間
平成24年度から平成28年度 5年間
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
平成28年度までに基準年度（平成22年度）から6.0%削減
- (3) 重点取組
 - ア 再生可能エネルギー設備の導入
 - イ 施設・設備の省エネ化の推進
 - ウ 低公害車・低燃費車の導入

2 温室効果ガス排出状況

項目	単位	H22	H26		H27（みらいえ含）		H27（みらいえ除）	
		基準年度	実績	H22比	実績	H22比	実績	H22比
ガソリン	kl	36.8	33.4	-9.2%	34.0	-7.5%	33.3	-9.4%
灯油	kl	142.3	106.8	-24.9%	97.5	-31.5%	97.5	-31.5%
軽油	kl	12.2	11.6	-4.5%	11.3	-7.6%	11.3	-7.6%
A重油	kl	79.0	4.0	-94.9%	9.2	-88.4%	9.2	-88.4%
LPG	t	8.6	0.9	-89.9%	0.6	-92.6%	0.6	-92.6%
都市ガス	千m ³	1,067.6	897.5	-15.9%	837.7	-21.5%	832.8	-22.0%
電気使用量	千kWh	15,608.7	15,021.9	-3.8%	15,143.0	-3.0%	15,028.7	-3.7%
笑気ガス	kg	129.2	72.0	-44.3%	34.0	-73.7%	34.0	-73.7%
公用車走行量	千km	524.0	462.6	-11.7%	470.9	-10.1%	461.3	-12.0%
カーエアコン	台	75.0	76.0	1.3%	80.0	6.7%	76.0	1.3%
C02総排出量	t-C02	7,522.9	6,636.4	-11.8%	6,516.0	-13.4%	6,471.5	-14.0%

※取組効果を正当に評価するため、基準年度の排出係数を固定してC02排出量の算定を行っています。

※最新の排出係数によるC02排出量：10,301.7t-C02（基準年度比36.9%増）

【結果】

- ・ H27温室効果ガスの総排出量は、H22と比較し13.4%減少しました。（みらいえのC02排出量を除くと14.0%減りました。）
- ・ 各燃料等使用量の増減の主な理由については、下記のとおりです。

【燃料使用量等増減の主な理由】

燃料等	増減	主な理由
灯油	-31.5%	・ 学校給食センターの統合による減（H25）
A重油	-88.4%	・ 学校給食センターの統合による減（都市ガスに変更）（H25）
LPG	-92.6%	・ 学校給食センターの統合による減（都市ガスに変更）（H25）
都市ガス	-21.5%	・ 都市ガス代高騰に伴い、西脇病院のエネルギーを電気にシフト ・ 第二庁舎の空調改修（熱源を電気に変更）（H25） ・ マナビータ、生活文化総合センターの空調改修（H23）

3 主な取組

(1) 重点取組

ア 再生可能エネルギー設備の導入

→ メガソーラーの設置

- ・ 北播磨清掃事務組合最終処分場跡地

→ 太陽光発電設備の導入

- ・ 小中学校7施設

(重春小、日野小、比延小、芳田小、楠丘小、西脇中、西脇東中)

- ・ 茜が丘複合施設「Miraie (みらいえ)」

- ・ 総合市民センター

イ 施設・設備の省エネ化の推進

→ 照明のLED化

- ・ 防犯灯 1,112基 (H27～H29で3,500基の計画)

- ・ 小中学校7施設 (体育館等)

- ・ 天神池スポーツセンター (指定管理施設→計画対象外)

→ OA機器の省エネ化

- ・ 省エネPCに更新 (66台)

ウ 低公害車・低燃費車の導入

→ 1台 (リース車)

(2) その他の取組

ア 節電対策の徹底

→ 公共施設における不使用場所の消灯 (昼休み時、トイレ等)

→ 廊下及び窓際照明の間引き・消灯

→ 空調使用の抑制

- ・ 稼働時間の短縮

- ・ 設定温度の徹底 (冷房時28度、暖房時19度)

→ 定時退庁の推進

- ・ 水曜日

→ パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか

イ 緑のカーテン大作戦の実施

→ 公共施設30施設

ウ 職員全員が環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック

エ 各課・施設における活動量 (温室効果ガス総排出量) の取りまとめ